



UPDATE! エイズ治療のこと HIV 検査のこと

平成 30 年 11 月 28 日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(平成 30 年第 47 週分・11 月 19 日～11 月 25 日)

12月1日は世界エイズデー

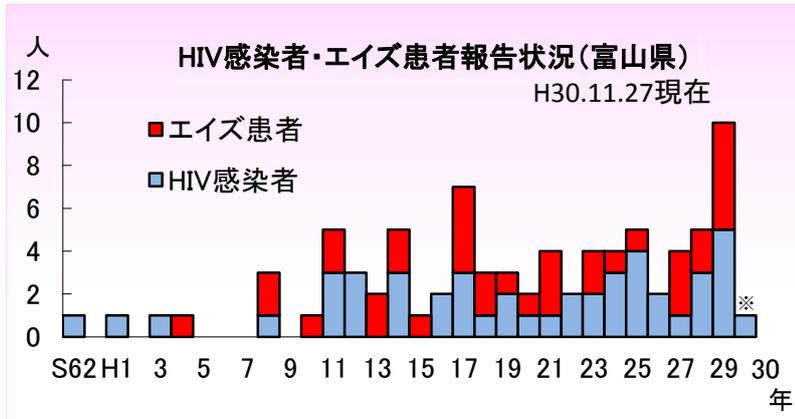
《 インフォメーション 》

●世界エイズデー

県内では、昭和 62 年に初めて感染者が報告され、平成 10 年以降は、毎年数人で推移しています(右図)。今年も HIV 感染者 1 件(速報値)が報告されています。

HIV に感染してもすぐにエイズを発症するわけではなく、自覚症状の無い時期が数年間続きます。そのため、この感染症は、HIV 感染者(無症状)とエイズ患者(有症状)に分けて報告されます。県内では、約半数がエイズ患者として報告されており、発見の遅れが心配されています。エイズ発症前に検査で HIV 感染を知ることは感染拡大防止と早期治療開始のためにも重要です。

WHO(世界保健機関)は、1988 年に世界的レベルでのエイズ蔓延防止と患者・感染者に対する差別・偏見を解消するため、**12 月 1 日を世界エイズデー**と決めました。これに合わせて、県内でも保健所、厚生センターで夜間・休日等の臨時検査の実施や、街頭キャンペーンなどが行われています。平成 30 年度の世界エイズデーのテーマは「**UPDATE! エイズ治療のこと HIV 検査のこと**」です。エイズが発見・報告されてから 30 数年。この間、治療方法は大きく進歩しました。エイズはもはや「死の病」ではありません。にもかかわらず、エイズに対する正しい知識が不足し、そこから生まれる偏見や差別があり、予防行動や HIV 検査受検は不十分です。情報を UPDATE(更新)して、エイズのイメージを現実に近づけることは、流行を終わらせるための鍵と言えます。



《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 3件 (①②ともに第 46 週診断分：80 歳代 ①男性 ②女性 ③20 歳代、女性)

四類感染症 レジオネラ症 1件 (70 歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 (70 歳代、男性)

侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (第 46 週診断分：60 歳代、女性)

風しん 1件 (40 歳代、男性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1 位	感染性胃腸炎	4.86 (↓)	5.34
2 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.83 (↓)	1.86
3 位	咽頭結膜熱	1.45 (↑)	1.41
4 位	手足口病	1.38 (↑)	1.14
5 位	RS ウイルス感染症	1.28 (↓)	1.76
6 位	インフルエンザ	0.63 (↑)	0.04

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第47週 平成30年11月19日～平成30年11月25日）

分類	疾患	今週報告分（第47週）						累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核				1		1	11	13	55	20	83	182	
三類感染症	細菌性赤痢										1		1	
	腸管出血性大腸菌感染症							3	4	4	3	11	25	
	パラチフス											1	1	
四類感染症	E型肝炎							1		1	1		3	
	A型肝炎											4	4	
	つつが虫病							3				1	4	
	デング熱										3		3	
	レジオネラ症					1	1	4	1	8	4	24	41	
五類感染症	アメーバ赤痢										1	1	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									4		12	16	
	急性弛緩性麻痺										1		1	
	急性脳炎							2		1	1	2	6	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							4	1	6	2	6	19	
	後天性免疫不全症候群											1	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	1	2		2		2	6	
	侵襲性肺炎球菌感染症							3	2	8	4	17	34	
	水痘（入院例）							2		2		3	7	
	梅毒									1		12	13	
	播種性クリプトコックス症											3	3	
	百日咳								2			9	12	
	風しん					1	1			4	1	5	10	
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ		2			28	30	2,232	1,828	3,491	2,452	5,401	15,404
				0.40			1.75	0.63						
RSウイルス感染症		2		8	7	20	37	76	41	296	128	729	1,270	
		0.50		1.00	1.75	2.00	1.28							
咽頭結膜熱		3	1	20	11	7	42	243	80	301	57	329	1,010	
		0.75	0.33	2.50	2.75	0.70	1.45							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	1	24	1	26	53	169	130	619	226	879	2,023	
		0.25	0.33	3.00	0.25	2.60	1.83							
感染性胃腸炎		43	26	42	5	25	141	1,311	883	1,433	248	3,024	6,899	
		10.75	8.67	5.25	1.25	2.50	4.86							
水痘				6	1	9	16	23	6	101	62	128	320	
				0.75	0.25	0.90	0.55							
手足口病			2	5	26	7	40	12	16	122	171	143	464	
			0.67	0.63	6.50	0.70	1.38							
伝染性紅斑				2		1	3	7	4	95	44	49	199	
				0.25		0.10	0.10							
突発性発しん		2	2	7	3		14	62	50	219	54	158	543	
		0.50	0.67	0.88	0.75		0.48							
ヘルパンギーナ				1	2		3	122	117	332	106	286	963	
				0.13	0.50		0.10							
流行性耳下腺炎								7	11	22	4	42	86	
急性出血性結膜炎										2	14	1	17	
流行性角結膜炎				4			4	2	18	26	5	7	58	
			2.00			0.57								
細菌性髄膜炎											5	5		
無菌性髄膜炎											2	2		
マイコプラズマ肺炎							7	4	6	6	11	34		
クラミジア肺炎										1	3	4		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							3		4	2	7	16		
インフルエンザによる入院患者（*）				1	1	2				3	1	4		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

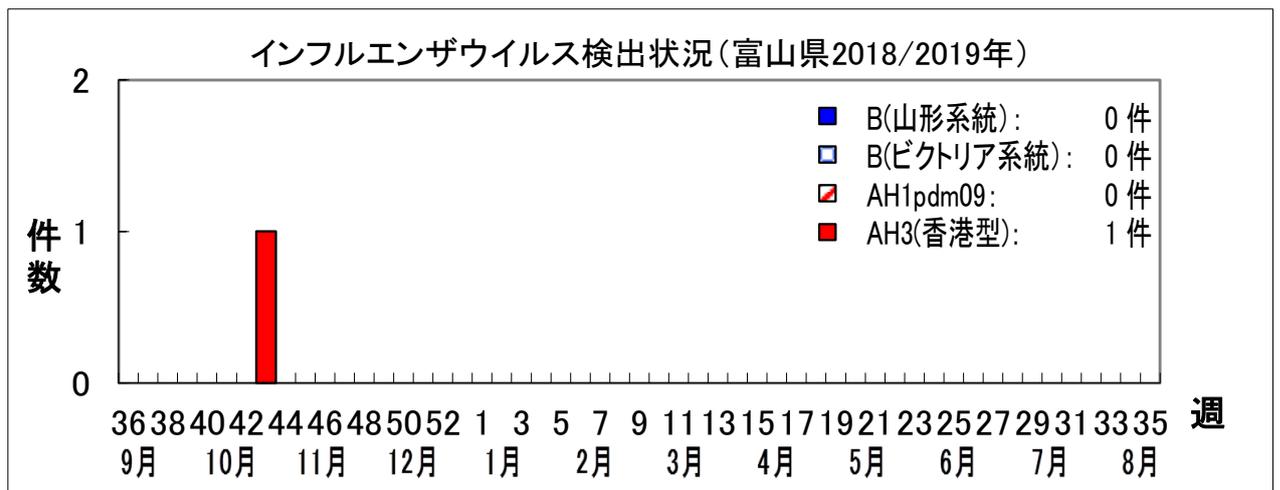
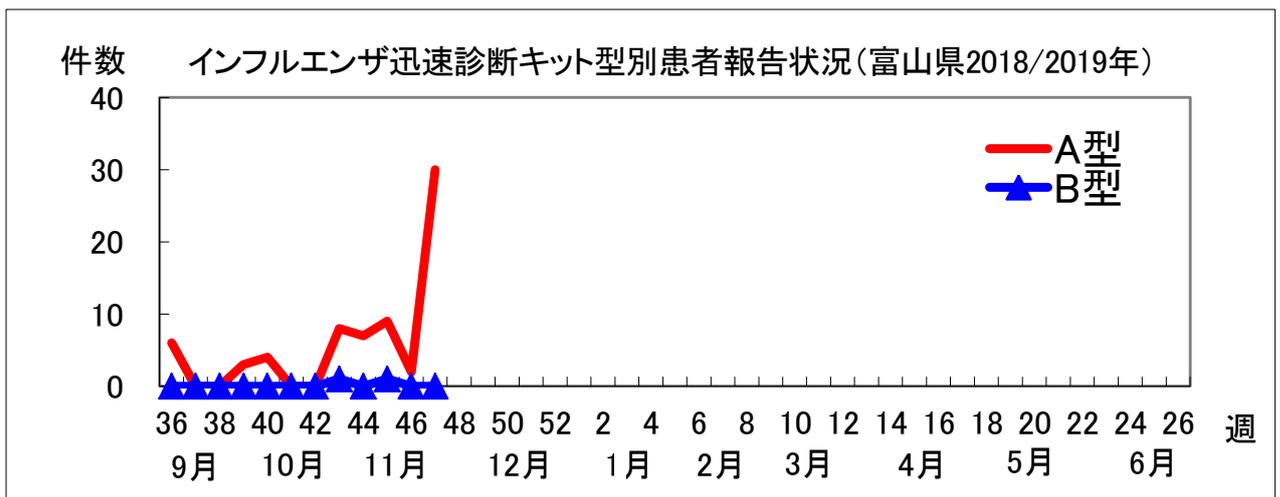
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、A型が100.0%となっています。

第47週(11/19～11/25)：富山県 0.63人/定点 (単位:件)

厚生セン ター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ※2	合計
		A型	B型		
新川	0 / 7	0	0	0	0
中部	2 / 5	2	0	0	2
高岡	0 / 13	0	0	0	0
砺波	0 / 7	0	0	0	0
富山市	6 / 16	28	0	0	28
富山県	8 / 48 ※1	30	0	0	30
富山県累計(2018年36週～)		69	2	4	75

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が8か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



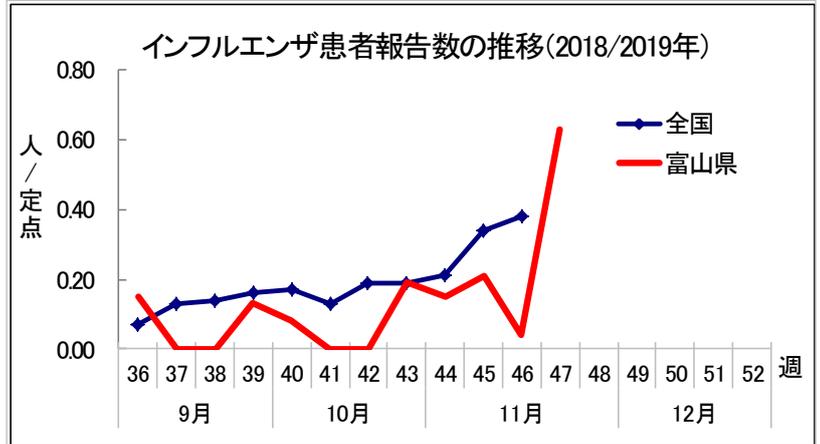


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 47 週 (11/19~11/25) : 富山県 0.63 人/定点

新川 HC (0.00)、中部 HC (0.40)、高岡 HC (0.00)、砺波 HC (0.00)、富山市 HC (1.75)

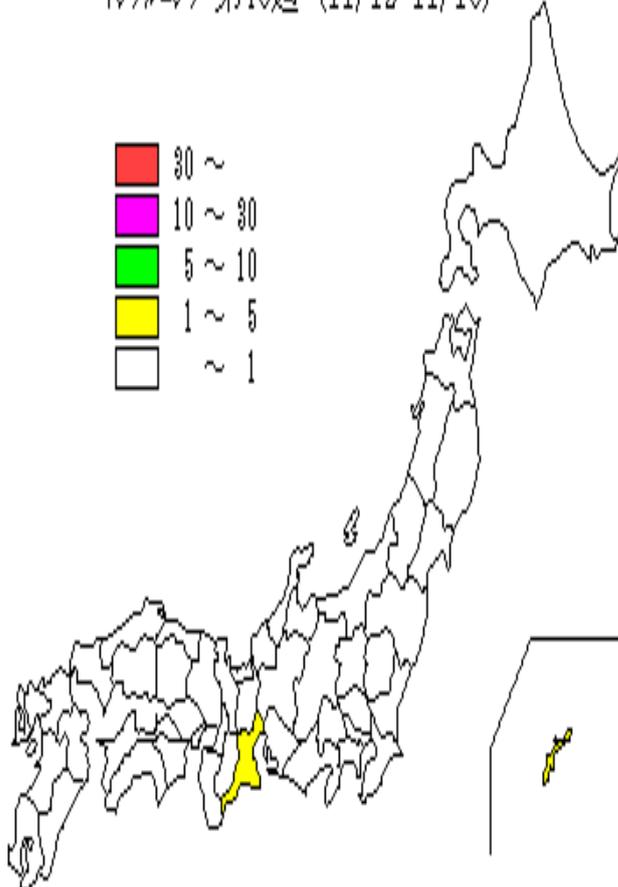
インフルエンザの患者報告数は、全国で増加傾向となっています。県内では流行入りの目安である定点あたり 1.00 人を超えていませんが、富山市保健所管内では学級閉鎖が報告されています。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 46 週 (11/12~11/18)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 0.38 人となり、前週の 0.34 人より増加しました。26 都道県で前週より増加しています。19 府県で前週より減少しています。

インフルエンザ第46週 (11/12-11/18)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	0.36	滋賀県	0.15
青森県	0.46	京都府	0.18
岩手県	0.14	大阪府	0.40
宮城県	0.54	兵庫県	0.27
秋田県	0.00	奈良県	0.71
山形県	0.27	和歌山県	0.37
福島県	0.06	鳥取県	0.34
茨城県	0.38	島根県	0.21
栃木県	0.18	岡山県	0.23
群馬県	0.05	広島県	0.37
埼玉県	0.72	山口県	0.28
千葉県	0.50	徳島県	0.11
東京都	0.60	香川県	0.62
神奈川県	0.34	愛媛県	0.10
新潟県	0.10	高知県	0.04
富山県	0.04	福岡県	0.49
石川県	0.15	佐賀県	0.21
福井県	0.26	長崎県	0.14
山梨県	0.24	熊本県	0.48
長野県	0.15	大分県	0.09
岐阜県	0.40	宮崎県	0.14
静岡県	0.23	鹿児島県	0.62
愛知県	0.48	沖縄県	1.05
三重県	1.10	全国	0.38